

氏名 (法人にあっては名称)	自然電力株式会社
住所	福岡県福岡市中央区荒戸1-1-6 福岡大濠ビル6階

自社等発電所(*1)の有無	無		
電気事業の概要	<p>自然電力グループは、「エネルギーから世界を変える」という企業理念のもと、太陽光・風力等、自然エネルギー発電所の設置から電力小売までワンストップサービスの提供をしており、持続可能な社会の構築に向け活動する企業・団体のニーズにお応えします。</p> <p>事業内容： 自然電力株式会社にて、太陽光・風力・小水力等の自然エネルギー発電所の発電事業（IPP）、事業開発・資金調達、アセットマネジメント、個人・法人向け電力小売事業等を行っております。 また、グループ会社であるjuwi（ユーイ）自然電力株式会社・juwi自然電力オペレーション株式会社では、太陽光や風力等、自然エネルギー発電所のEPC（設計・調達・建設）、O&amp;M（運営・保守）等を行っております。</p>		
電気の供給における温室効果ガスの排出の状況	年度	実二酸化炭素排出量	把握率
	前年度実績（2020年度）	0.062（千t-CO <sub>2</sub> ）	100.00（%）
電気の供給における温室効果ガスの排出の量の抑制に関する措置の実施状況	年度	実排出係数(*2)	調整後排出係数(*3)
	前年度目標（2020年度）	0.400（kg-CO <sub>2</sub> /kWh）	0.200（kg-CO <sub>2</sub> /kWh）
	前年度実績（2020年度）	0.414（kg-CO <sub>2</sub> /kWh）	0.238（kg-CO <sub>2</sub> /kWh）
	<p>（措置の実施状況）</p> <p>2020年度の販売電力に対しては、非化石価値取引市場で非化石証書（再エネ由来）を購入することで、低い「CO<sub>2</sub>排出係数（調整後）」の電気を実現しています。次年度は（目標を超える値を実現できるよう）同様の方針で低いCO<sub>2</sub>排出係数（調整後）を目指してまいります。</p>		

\*1 自社等発電所とは、自己が所有する発電所及び経営支配下においている子会社が所有する発電所をいう。  
 \*2 実排出係数とは、市内への電気の供給に伴う二酸化炭素排出量（実二酸化炭素排出量）を市内への電気の供給量（電気供給量）で除したものをいう。  
 \*3 調整後排出係数とは、実二酸化炭素排出量から償却前移転した京都メカニズムクレジット等を控除したものを、電気供給量で除したものをいう。

電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	再生可能エネルギー <sup>(*4)</sup> -発電量	再生可能エネルギー <sup>(*5)</sup> -導入率
	前年度目標 (2020年度)	5 (kWh)	10.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	0 (kWh)	0.00 (%)
	(措置の実施状況)		
	当年度・次年度におきましては、風力・小水力等を含め、引き続き自然電力グループ設置の自然エネルギー発電所 (FIT) からの電力供給比率を増やしてまいります。		
電気の供給における再生可能エネルギーの利用の拡大に関する措置の実施状況	調達分を含む再生可能エネルギーの環境価値の確保量の割合の拡大に関する措置の実施状況		
	年 度	環境価値の確保量 <sup>(*6)</sup>	環境価値の確保率 <sup>(*7)</sup>
	前年度目標 (2020年度)	35 (kWh)	70.00 (%)
	前年度実績 (2020年度)	82 (kWh)	55.00 (%)
	(措置の実施状況)		
	弊社の電力料金メニューは「電源に占める非化石証書の割合」で分類されますが、前年度におきましては非化石証書の割合が低く・料金単価が相対的に高いメニュー、顧客に好まれた結果となりました。今後は非化石証書の割合が高い (= 二酸化炭素排出量が少ない) メニューをお選びいただけるようアピールしてまいります。		
電気の供給における未利用エネルギー <sup>(*8)</sup> による発電量の割合の拡大に関する措置の実施状況	特に利用予定はありません。		
火力発電所における熱効率の向上を図るための措置の実施状況	火力発電所は所有しておりません。		
本市の区域内に存する電気の需用者に対する地球温暖化の防止に資する取組の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営/企業活動、国際イニシアティブ「RE100」に関するCO2削減に興味・関心のある事業者様へのコンサルティングを行っています。</li> <li>・電力小売事業「自然電力のでんき」のお客様用webマイページにて、「日々の使用電力量、および電源構成を見える化」し、情報提供をしています。</li> <li>・「自然電力のでんき」WEBサイトののブログ記事にて、自然エネルギーの普及に関する情報発信を継続的に行っています。</li> </ul>		
その他の地球温暖化の防止に貢献する取組の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弊社の行動指針には、「地球を楽しもう」「地球の未来に責任を持とう」などがあります。</li> <li>これらを体現すべく、空調設定温度28℃ (夏季) 及び19℃ (冬季) の徹底などオフィスでの対策はもちろんのこと、「海部山部」といった自然を楽しむ活動を通して、地球温暖化および自然エネルギー100%社会に向けた気づきの場としてまいります。</li> </ul>		

\*4 再生可能エネルギー発電量とは、自社等発電所における再生可能エネルギー (太陽光、風力その他非化石エネルギーのうち、エネルギーとして永続的に使用することができるもの) による発電量のうち市内分をいう。

\*5 再生可能エネルギー導入率とは、上記の発電量を自社等発電所における発電量のうち市内分で除したものをいう。

\*6 環境価値の確保量とは、自社等発電所における再生可能エネルギーによる発電量、他の一般電気事業者等の発電所における再生可能エネルギーによって発電された電気の購入量及び購入した環境価値の量を合算したもののうち市内分をいう。

\*7 環境価値の確保率とは、上記の確保量を電気の供給量のうち市内分で除したものをいう。